

平成27年度入学試験問題（後期）

小論文

（ 教育学部 生涯教育課程 地域生活専攻 ）

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙と下書き用紙を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

バイオ燃料は、植物などの生物体を原料として造られる燃料であり、石油などの化石燃料¹⁾と比べて二酸化炭素の排出量を削減できる可能性があることから、近年注目されている。しかし一方では、バイオ燃料の原料となる植物を育成するためには、環境を改変・整備する必要があり、その改変の行為自体によって二酸化炭素が排出されることがある。下の表は、世界のさまざまな環境を改変して、さまざまな原料からバイオ燃料を生産する場合に、環境の改変によって排出される二酸化炭素の量をそれぞれ示したものである。表から分かること、さらにそれをもとに考えたことを述べなさい。(800字以内)

表

著作権の関係上、省略します。

注

- 1) 化石燃料：植物や微生物などの遺骸が地中にたまり、何億年かけて燃料に変化したもの。石炭・石油・天然ガスなどがある。
- 2) 泥炭湿地：植物の遺骸が水に浸かった状態で分解が進まず、数千年の間に泥炭となって蓄積した土地。
- 3) 限界農地：他の農地に比べ、条件が不利で耕作が難しい農地。